



議会だより

でいすかす

115号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2023.2.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください



▲令和4年11月22日 連合町内会との意見交換会の様子

令和4年第4回定例会

一般質問

[令和4年12月5日(月)～12月8日(木)]

P3～P4に掲載しています

目次

委員会だより	②ページ
一般質問	③～④ページ
補正予算審査、その他	⑤ページ
決算審査	⑥～⑧ページ

令和4年第4回定例会における 議案の賛否状況

第4回定例会で上程された議案はすべて可決されました。





▲「持続可能な開発目標(SDGs)を登別市のまちづくりに生かす条例」に係る意見交換会の様子

挙運動の公
費負担に関
する条例の
一部改正に
ついてを原
案可決しま
した。
(天神林)

本委員会の重点活動テーマである持続可能なまちづくりの推進では、具体的な取り組みとして、(仮)持続可能な開発目標(SDGs)を登別市のまちづくりに生かす条例の制定に向けて、条例(案)に対する各種団体および企業との意見交換会を開催しました。

この中で条例案に関しては、総じて幅広い内容が網羅されており、特に問題となる項目などはないとの意見をいただいたことから、最終調整を進めており、登別市議会パブリックコメント実施要綱により、広く市民の皆さんに公表し、意見などに対する考え方や検討結果を伝えていく予定としています。

また、第4回定例会では、付託議案に登別市議会議員及び登別市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正についてを原案可決しました。

総務・教育委員会

パブリックコメント実施へ
最終調整



▲消滅型生ごみ処理機「ゴミサー」視察の様子

ごみの削減は、重要な取り組みであることから、今後もワイルドセンターの在り方含め、調査・研究を進めていきます。
(宮武)

一般廃棄物中間処理施設(ワイルドセンター)は、運転開始から30年経過する2030年に向けた整備方針について、再延命化することを検討しています。

本市は、比較的小規模の分別が簡易的ですが、家庭系ごみの4割は生ごみで占めており、生ごみの減量化を目的とした、生ごみ処理機設置における実証実験の見学および、利用者のご意見をいただきました。

実証実験の効果として、ごみの減少にはつながっているものの、現在の処理機では、一部処理できない生ごみもあることから、その分別が大変であるとの意見がありました。

また、処理機の価格が約250万円で、市内全域の設置は、相当の費用となります。

生活・福祉委員会

生ごみ削減に向けた
実証実験



▲議会サポーターとの意見交換の様子

用ではないか」といった意見が出されました。

今回の意見交換会は、令和5年3月予定の本格運行のための一助になると考えています。
(小栗)

本委員会では、登別国際観光コンベンション協会とグリーンズローモビリティ(低速電動バス)の導入について、意見交換会を行いました。

意見交換の中で、「昨年の実証実験では、手を挙げるだけでどこからでもバスに乗車できることから、利便性が高く、大変好評だった」「本格稼働すれば観光・経済にとって大きな起爆剤になる」「脱炭素の観点からは、全国屈指の温泉地である登別温泉で取り組むことで、全国からも注目され誘客にもつながり、教育旅行生の学習の場にもなる」「せっかく電動バスを運行するのであれば、充電方法として自然エネルギーを活用した充電ができれば、教育旅行生を呼び込む題材としても有用ではないか」といった意見が出されました。

今回の意見交換会は、令和5年3月予定の本格運行のための一助になると考えています。

観光・経済委員会

低速電動バス導入に向けて



▲専門的サポーターによる講義の様子

市民の方に興味を持っていただき、読んでいただくための工夫、それについての考えが深まりました。

今後も紙面の充実を目指します。
(伊藤・足立)

本委員会の活動の核ともいえるのが、情報公開の分野としての議会だよりでいすかすの編集・発行であります。

このたび、苫小牧市で紙の街の小さな新聞社ひらくの代表を務めている、山田香織記者を専門的サポーターとしてお迎えし、読まれる議会だよりに向けて、記者の視点や住民の視点などから、山田記者のご見解を伺い、意見交換を行いました。

山田記者が発行されている季刊議会のポイントとしては、インパクトのある表紙、わかりやすい見出し、行政用語や市議会用語は避けるなどが挙げられていました。

それらのことは、でいすかすの課題としてもそのままではあります。

広報・公開委員会

読まれる議会だより
でいすかすへ

中学校運動部活動改革で
本市のスポーツ振興を

宮武祥子



宮武議員の
一般質問
中継はこちら

国は、令和5年度から7年度までに、休日の中学校部活動を学校教育から地域のスポーツ活動へ移行することとしており、これに伴い、本市では令和5年度から、(仮称)登別市中学校クラブを立ち上げ、競技ごとにチームを設

置し、活動する予定となっています。
質 中学校クラブの中心となる団体は、事務的・総合的な調整機能を有する団体の運営を検討している。

質 来年度から活動を開始する競技は、団体競技から進める予定である。

質 部活動よりも受益者負担が増えることが予想されるが、中学校クラブの会費に対する考えは。

答 負担が大きくならないよう、支援の在り方を検討したい。

質 スケートボードなど、新たな競技種目を中学校クラブに新設する考えは。

答 まずは、要望を聴く仕組みをつくることを検討していきたい。

今後のごみ処理の在り方は

佐々木 久美子



佐々木議員の
一般質問
中継はこちら

ダーやごみの出し方に関するチラシの配布を管理会社に依頼している。

質 2030年度以降、生ごみの分別方法を見送ることとした理由は。

答 ごみステーションの衛生面や違反ごみが増えるなどの管理面で、町内会役員への負担が増大することを強く懸念する意見があった。

質 もっと多くの市民の声を聴くべきだったのではないか。

答 おおむね市民の代表的な意見をいただいたものと捉えている。

質 ほかに意見はあったのか。

答 生ごみとプラスチックを分別することが必要であるとの意見があった。

将来の安心・安全な
まちづくりを目指して

今野幹大



今野議員の
一般質問
中継はこちら

質 早急に津波避難対策緊急事業計画を作成し、避難困難な方のために、津波避難タワーの建設を検討すべきでは。

質 平成29年度において、西いぶり広域連合へは不参加としたにも関わらず、登別市・白老町令和12年度以降のごみ処理施設の在り方について(案)には18年後の選択肢として、さらなる延命化・新施設建設のほか、広域処理と記載した理由については。
答 5年前の判断は永遠に続くとは考えておらず、今後18年間、より時勢にあった選択肢の一つとして加えた。

子どもたちを守るための
不登校支援を

足立知也



足立議員の
一般質問
中継はこちら

軽減する傾向にあるため、保護者の多くは子どもの症状を、怠け癖や夜更かしなどが原因と考えて叱責したり、朝に無理やり起こそうとし、関係が悪化してしまう。

不登校の要因として、児童・生徒、教職員、保護者に対して、理解促進のために周知啓発するべきでは。

質 無気力症候群は、勝ち負けを気にする人や、競争心が強い人がなりやすいと言われている。
起立性調節障害は、10歳から16歳に好発すると言われ、起床困難や頭痛などの症状は午前中に強く、午後からは

質 文部科学省の調査では、不登校児童・生徒の約3割が無気力症候群や起立性調節障害により、朝起きられないなどの症状が見られると言われている。現在、保護者の理解はあまり高くないと考えているので、各種通信などで周知啓発することを検討する。

質 本市における行政運営と行政経営の考え方について、行政、議会、市民が共通認識の下に議論することができるよう、本市におけるそれぞれの言葉の考え方について質問しました。

行政運営と行政経営との違いは。



井野議員の
一般質問
中継はこちら

**行政運営と行政経営
稼ぐ行政の意味とは何か**

井野正臣

質 既に市内10か所で大規模太陽光発電施設（メガソーラー）がある中、市民から不安の声は寄せられていないのか、その対応はどうしているのか。

また、全国的には条例を制定する事例も多く見られるが、本市としてもガ



米田議員の
一般質問
中継はこちら

**大規模太陽光発電施設
設置の問題と対応策は**

米田登美子

答 行政が民間企業を模倣し、営利的な活動をするのではなく、自主財源の確保に積極的に努めることである。

今回の質問を通して、当たり前と思われる言葉を定義付けすることにより、今後の行政運営、まちづくりについて、議論を深めていきたいと思います。

質 稼ぐ行政とは。

答 行政運営とは、市として取り組む日々の業務全般を示すものである。

行政経営とは、行政運営の手法の一つとして、民間企業のような経営的視点で事業のスピード感やコスト意識を持ちながら、行財政改革を推進していくことである。

イドラインの策定や条例を制定する考えは。

答 住民説明会や地区懇談会での意見は、自然環境への影響、災害の発生、景観の悪化、事業終了後のパネルの廃棄などがあつた。

設置事業者に地域住民への事前説明を要請することのほか、不安・懸念などがあれば、必要に応じて意見交換の場を設けていきたい。

ガイドラインは令和4年度中の策定に向けて事務を進めており、大規模太陽光発電施設に特化した条例を制定する考えはない。

質 現在5名いる地域おこし協力隊の任期は3年だが、任期満了後も定住していただくために、任期中の隊員へのフォローアップが大変重要と考えるが、本市の考えは。

答 現在活動している隊員については、



田中議員の
一般質問
中継はこちら

**まちの魅力向上へ
地域おこし協力隊への支援を**

田中寛志

質 箱根※DMOでは、車いすで巡る観光マップを作成している事例がある。観光バリアフリーマップ作成の考えはないのか。

答 新たに整理する公共施設のバリアフリー情報は、障がい者や高齢者など、



千田議員の
一般質問
中継はこちら

**障がい者や高齢者などに
やさしいまちづくりを**

千田文孝

協力隊の募集の際、任期満了後の起業・就業・定住等に対する意向を確認しており、多くの隊員が本市での起業や定住の意向を示している。

既に本市の事業所開設費補助金を活用して、市内での起業や定住に向けた活動を進めている隊員もいる。

今後も起業を希望する隊員については、任期中から観光経済部をはじめとする多くの部署や地域住民、地元企業との連携を図ることにより、円滑な地域おこし活動やその後の起業に結びつくよう、また、一人の市民としても地域に溶け込み充実した生活が送れるよう、支援していく。

市民向け情報のお知らせが主な目的であるが、他自治体で民間施設や公共施設の情報発信をしている事例があり、庁内で連携を図りながら研究したいと考えている。

質 A－チャットボットで、バリアフリー情報が取得できれば、足の不自由な観光客や市民の外出につながると思うが、そのような対応はできないのか。

答 A－チャットボットは、事前に登録した質問と回答を結びつけることで、トイレや授乳室の場所の情報など、施設の紹介をしているウェブサイトへ誘導することは可能で、どのような情報を登録していくか検討する。

※DMO…観光地域づくり法人。地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人のこと。

予算・決算委員会(令和4年度補正予算審査) [令和4年12月13日(火)]

本委員会に付託された各会計補正予算の案件は4件で、コロナ禍の状況を鑑みて通告制としました。

初めに、議案第81号令和4年度登別市一般会計補正予算第9号について、質疑のあった事業は、歳出の総務費で、庁舎維持管理経費(本庁舎・第二庁舎) 630万8千円と、繰越明許費のはしご付消防自動車更新事業費1億4千26万7千円であり、主な質疑として、電気料金、燃料価格の高騰及び高圧電力需給施設に係る業務用電力需給業務の入札不調に伴う光熱水費及び燃料費の増額の概要について質疑がありました。

質疑に対する答弁として、業務用電力需給業務は、市役所本庁舎ほか24施設への電力供給を行うもので、今般入札を行ったところ辞退届の提出があり入札が不調となったことから、電気最終保障供給約款に基づき、北海道電力ネットワーク(株)と契約し、約2割増しの料金設定により、光熱水費が増額となったとの答弁がありました。

その他の歳出と歳入全般及び債務負担行為に関しては特に質疑がなく、全会一致で原案のとおり可決しました。

また、議案第82号から84号までの令和4年度登別市国民健康保険・学校給食事業・カルルス温泉スキー場事業の各特別会計補正予算3件は特に質疑なく、全会一致で原案のとおり可決しました。

(二瓶)

連合町内会役員と意見交換しました

協働のまちづくりにご尽力いただいている、登別市連合町内会の主催により、理事の皆様と住みよいまちづくりについて、意見交換を行いました。

3つのテーマで意見交換を行い、1つ目の「防災・減災のまちづくりについて」では、登別市防災基本条例と地域防災計画の違いや役割の疑問、避難訓練で判明したことなどを伺いました。

2つ目に議員側より、「住みよいまち」に今どのような活動が必要か」では、現庁舎跡地の利活用や町内会に加入することのメリット、防災情報やごみの分別を知らない住民がいるという課題が挙がりました。

3つ目に理事側より、「私が議会に期待すること」では、議員も各種団体の集会等へ参加し、情報収集の機会をつくるべきというご意見をいただきました。

提起された課題やご意見等は、今後の活動へ生かしていきます。

(千田)

北海道登別青嶺高等学校の生徒が市議会を学びました

北海道登別青嶺高等学校では、地元とのつながりを通じて地域課題を発見し考えることを目的とした、じもと学を開講しております。

このたび、授業の一環として、議長が学校訪問し、市議会が取り組む多様性のある議会のほか、日常生活におけるさまざまな価値観の違いと、それらを包摂する大切さを講話しました。

翌週には、議場で実際に市議会議員が質問する様子を見学いただきました。市議会に限らず、学生の皆さんが地元企業や団体とつながるなかで、登別への愛着を育み、将来の進路を考える本授業は、とても有意義なものです。私たち市議会にとっては、学生の皆さんから新たな価値観を学ぶ機会になっており、これからも積極的に参画していきたいと思っています。



▲令和4年12月8日 青嶺高校の議会見学の様子

第15回議会フォーラムを開催しました

15回目となった議会フォーラムは、まちの課題を声にして議会へ届けようとして、昨年と同様に高校生や専門学校の生の参加を募って開催しました。

今回の意見交換では、各委員会の重点活動テーマについてもグループワークに盛り込み、自由闊達な議論と世代間交流も図ることができました。

今年度も新型コロナウイルス感染症による感染拡大の状況を注視しつつ、感染予防を意識しながらの開催でしたが、参加者からの心待ちの声や好評などにも励まされ、コロナ禍でも住民との対話の機会を創出し、議論することの大切さや議会フォーラムを開催することの意義を改めて認識しました。

今回の議会フォーラムは、改選後の新体制で組織され、開催していくこととなります。

皆様と共有した課題や改善点などを整理し、次代に引き継いでいきたいと考えています。



▲令和4年10月3日 第15回議会フォーラムの様子

(伊藤)

予算・決算委員会(令和3年度決算審査) [令和4年10月24日(月)～26日(水)]

委員長概要報告

令和3年度各会計決算の認定に係る予算・決算委員会の経過と結果について、一般会計の歳出では各款ごと、歳入では全般にわたり質疑を行い、2会派の総括質疑終了後、全会一致で原案を認定することに決定しました。

一般会計と特別会計を合わせた決算総額は、歳入360億73万2千円、歳出345億3千965万3千円で、翌年度繰越財源を引いた実質収支額は14億5千936万7千円の黒字となり、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用により一般財源の持ち出しを抑えたことや目減りしていた財政調整基金等に約7億5千万円の積み立てができたとの報告がありました。

特別会計と企業会計では、簡易水道事業についての質疑はなく、登別市国民健康保険・学校給食事業・介護保険・カルルス温泉スキー場事業・水道事業及び下水道事業について、歳入・歳出全般にわたり質疑を行い、質疑終了後、全会一致で原案を認定することに決定し、後期高齢者医療については、質疑終了後に採決となり、賛成多数で原案を認定することに決定しました。

(二瓶)

市民・前進総括質疑

質 歳入・歳出と実質単年度収支をどのように評価しているか。

答 令和2年度決算に続き黒字となり、財政調整基金等に積み立てることができ、いつときの厳しい財政状況からは脱したと考えている。

質 安定的な財政運営には、財政調整基金など最低限10億円は必要との考えであったが、それは変わらないのか。

答 大型事業推進プラン以外にも、ワリンクルセンターや学校給食センターなど、近い将来に更新が必要な大型事業も控えており、目途が付くまでの当面の間、積み立てが可能な場合には、財政調整基金などへのさらなる積み増しをすることにより、大規模な投資に対応していきたい。

そのほか、決算および現状を踏まえ、令和5年度の予算編成の考えや地方創生臨時交付金を活用した事業の総括、今後の新型コロナウイルス感染症対策事業の考え、ICT活用の推進と効果、新庁舎整備に向けた新しい働き方への推進、子育て施策、障がい者雇用や高齢者施策、男女共同参画・多様性社会の推進などの質疑を行いました。

(千田)

市政クラブ21総括質疑

質 今後、人口減少に伴う市税の減少は間違いのないものと考えられる。

本市は令和2年4月から入湯税率を引き上げた経緯がある。

自治体には課税自主権があり、他自治体では法定外税を設けている事例もあるが、本市においても確実な歳入確保の手段として法定外税を新設し、税の増収につなげる考えについて伺う。

答 独自に法定外税を導入している自治体があることは認識している。

全国の導入実績を見ると産業廃棄物、核燃料、環境対策関係税など、その導入事例は限定的であり、導入自治体が一部に留まることなど、本市においての導入については課題が多いものと推察される。

また、新たな税制の導入になると、課税目的や公平性の担保などを最優先で検討すべきであり、財源の確保という観点のみの法定外税の導入は現時点では考えていない。

歳入確保については重要事項と捉えており、受益者負担の適正化など、これまでの取り組みを確実に進めていきたいと考えている。

(若木)

学校給食費の今後は

井野正臣

質 令和3年度における本市の学校給食費は他市町村と比較して高いと認識しているが、間違いはないか。

答 全道的にみて高いと認識している。

質 そのような中、今後の取り組みは。

答 物価上昇が続いており、学校給食センターとしては、献立の工夫や、安価な食材の選定など可能な限りの努力を行い、学校給食の提供に努めている。今後も物価上昇が続くようであれば、給食費への反映等について検討しなければならぬと認識している。

移住促進施策における今後の展開は

成田昭浩

質 移住促進施策における今後の展開はいかに。

答 令和4年9月に着任した地域おこし協力隊(関係人口コミュニケーション担当)と連携し、協力隊のコミュニケーションを活用した個別のワークショップや移住体験の実施、ウェブ広告の配信に加えて、協力隊が開設したSNS等を活用した情報発信、移住ポータルサイト上での市内企業の紹介の企業数を増やすなどの取り組みを進める。

アイヌ文化啓発に向けての努力を 米田登美子

質 新型コロナウイルス感染症の影響により、多文化共生事業において海外派遣を見送ったが、中止の決定の過程はどうか、また、ほかの方法を検討し、事業の実施を目指すべきでは。

答 令和3年度は、友好都市であるサパン市への派遣を予定していたが、渡航中止勧告が発出されており、解除時期が不透明であったこと、また、代替事業を実施するには早期の決断が必要だったため断念したが、今後は最適な開催方法を模索していきたい。

期日前投票所を拡大する考えは 佐々木久美子

質 今後の選挙でも感染症対策も含めた期日前投票の需要が高まると考えるが、設置場所を拡大する考えは。

答 臨時的に雇用するスタッフの調達に苦慮していることから、期日前投票所の大幅な拡大は難しいが、地域の有権者のバランスを考え配置に努める。

また、4月に執行される統一地方選挙では、これまで期日前投票所がなかった登別地区に新たに投票所を設ける方向で、設置場所の詳細については地域と協議を進める。

防犯灯設置事業補助金の今後は 小栗義朗

質 省エネルギー型防犯灯への切り替えが進んでいるが、100%に達したときに当該事業はどうなるのか、また、ごみステーションの整備などへの補助を検討するという考えはないのか。

答 今後も新設や改修などが見込まれるため事業は継続するが、今後については庁内全体での議論となる。

当該事業の補助額が減少し、各町内会に対する電気料金の補助額も減少していることを踏まえ、庁内全体での議論にしていきたいと要望しました。

資源回収量の減少対策の考えは 千田文孝

質 資源回収量が減少傾向の理由は。

答 町内会参加団体数は横ばいで、詳細分析は行っていないものの、ペーパーレス化や人口減少に伴い、回収量が減少しているものと思われる。

質 町内会未加入の住民は3割おり、回収対象の掘り起こしとして、アパート専用の回収箱を設置してはどうか。

答 紙のリサイクル推進のため、町内会未加入者などを対象に、行政による公共施設などでの拠点回収について、今後検討していく。

季節労働者等への継続的な安定就労を 伊藤健太

季節労働者等の通年雇用化や冬期就業機会の確保などを目的とした、雇用対策支援事業費について質問しました。

質 主に公共施設等の清掃が多いと伺えるが、公共施設が統廃合されていく中で、今後の雇用確保の考えは。

答 施設の統廃合が進む中においても、就業の機会が著しく減少することの無いように努めるとともに、引き続き雇用の確保に向けて、関係団体との情報交換や共有をしながら、事業を実施していきたいと考えている。

新たな一次産品の創出を 今野幹大

質 令和3年度に続き本年度も、ブリが大漁で、水揚げが多いにも関わらず、市民への食文化は定着されていない現状に対する本市の考えは。

答 海水温の上昇などにより、近年漁獲される魚種は、ブリやマグロ、サメなどの暖かい海域にいる魚も漁獲されており、主要魚種のスケトウダラやサケ類だけではない。

新たな水産資源としてブリなどのPRを推し進める必要があると考える。

来馬川に架かる常盤橋の現状を伺う 若木康夫

質 常盤橋は、中央町および常盤町と富士町を結ぶ市民が利用する橋であるが、老朽化が進み、親柱は数年前より養生シートを巻いた状態のため、早急に補修工事をすべきと考えるがどうか。

答 令和2年度の点検ではコンクリートが剥離している箇所があり、早期に措置を講ずべき段階と判定された。

令和5年度に橋梁長寿命化計画を改定する予定であるため、優先度を上げて国の補助金を活用し、早急に修繕工事の実施を考えていく。

道路排水対策事業の進捗と完了予定は 天神林美彦

質 道路排水対策事業費の今後の取り組みにおいて、令和2年度末で一定の事業効果が得られ、令和5年度の事業終了に向け対策を推進するところだが、予定通り事業が終了できるのか。

答 道路排水対策事業は、平成23年度より事業を進め、当初見込んでいた排水ポンプの設置や幹線となる排水管渠の設置を進めており、一定の事業効果も得られている。

今後も、引き続き整備を進め、予定通り事業が完了すると見込んでいる。

公園または広場の利用促進へ

宮武祥子

質 指定管理公園の利用促進事業は。

答 亀田記念公園では、子育て世代を対象に、自然体験プログラムを実施している。

質 公園内での移動販売の出店数は。

答 地域のイベントで出店はあったが、イベント以外での出店はなかった。

質 亀田記念公園など、大きな駐車スペースを活用した移動販売の公募は。

答 公園の利便性の向上も期待できることから、公園を活用した移動販売の公募について協議し、検討していく。

学校図書館司書配置事業の課題は

工藤 藤二雄

質 子どもたちに本の魅力を伝えるには、大変よい事業であると認識しているが、一層推進するための課題を伺う。

答 現在のところ、市内全小学校および中学校に学校司書を配置しているが、1名で2つの学校を兼務している状況であること、また、全ての学校に配置されていない状況である。

教育委員会としても、中学校への展開を拡大していきたいが、財源や学校司書の資格を持つ人材の発掘、確保が課題である。

スクールバス・タクシーの経費削減は

田中寛志

質 令和3年度の決算状況を単純に利用人数の24人で割ると、一人当たり年間50万円の経費を要しており、徒歩通学が困難な地域に居住する児童・生徒の通学には必要な事業であるが、今後の費用削減に向けた考えはあるのか。

答 経費については、対象人数や対象地域の状況等により、どのような移動手段を採用するかによって大きく変動するため、所要額の検討の際は費用面だけではなく、通学中の安全面など、さまざまな視点で検討を進めていく。

新一年生が胸をときめかせて入学式へ

渡辺 勉

質 「入学式が終わるとすぐに次年度のランドセルの販売が始まり、入学準備金が出るまでつらかった」との声があり、給付時期について質問しました。

質 入学の1か月前でなければ、ランドセルなどが揃えられないのは、子どもの気持ちを考えるといかがなものか。

答 国の基準が緩和された場合は、給付時期を改めて検討したい。

保護者の生活状況は子どもの学校生活に関わるため、解決できることは早急に対応いただきたいと提言しました。



決算審査 (左:10月24日 中央:10月25日 右:10月26日)

↑詳しい質疑の内容を録画配信でご覧いただけます。
スマートフォンをお持ちの方は、上の二次元コードからご覧下さい。

子どもの一時的緊急避難所の周知を

足立 知也

質 こども110番スタディちゃんの家のマップはあるのか。

答 毎年、小学校の学区ごとに作成し、各小学校に配布している。

質 マップは、児童や保護者へ配布したり、ウェブサイトに掲載したりはしないのか。

答 市公式ウェブサイトを活用し、マップや役割のほか、こども110番スタディちゃんの家への駆け込み訓練の写真などを活用して、どのような際に駆け込むのかなど、周知を図りたい。

議会中継をスマートフォンなどで閲覧しませんか？

令和5年第1回定例会は2月14日(火)から開催される予定です。

本会議や各委員会は、スマートフォンやパソコンからでもご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、できる限り来場しての傍聴はお控えいただき、スマートフォンやパソコンから議会中継をご覧くださいませようお願いします。



国会・政府に3件の意見書を提出

意見書は、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するために関係機関に提出するものです。

第4回定例会では次の意見書を可決し、国会・政府へ提出しました。

詳しい内容は、市議会ウェブサイトでご覧いただけます。

知的障がい者及び知的障がい行政への国の対応拡充を求める意見書

带状疱疹ワクチン接種への助成並びに定期接種化を求める意見書

学校部活動の地域移行に関する意見書